

にぎわい 159号

～日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信～



島根県 浜田市

ロシアからの救援物資が浜田港に到着

ロシア（ウラジオストク）のミネラルウォーター製造会社“SLAVDA社”（スラブダ社）と浜田港にROR船で輸送サービスを行っている船会社“FESCO社”（フェスコ社）から、東日本大震災で被災に遭われた方々への救援物資としてミネラルウォーターを提供したいとの申し入れがあり、5/25（水）に浜田港に到着しました。

届けられた約50トンのミネラルウォーターは、ロシア側の善意をうけ、物資の荷役、倉庫への運搬作業は地元企業により、すべてボランティアで行われました。

また、救援物資は浜田市が荷受人となり、被災地へ送り届けられました。



クルーズ客船「ふじ丸」が入港

6/24（金）クルーズ客船「ふじ丸」が浜田港に入港しました。

入港を歓迎し船内にて「歓迎セレモニー」が開催され、浜田市長が歓迎のあいさつを行い、観光大使はまだの2人から乗客の代表に花束が贈られました。

また、セレモニー終了後、多くの乗客がオプションツアーとして、石見銀山遺跡や出雲大社など、しまねの魅力溢れる観光地をめぐり、同日夕方に境港から次の寄港地となる輪島港に向け出港しました。



【編集・お問い合わせ先】

中国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課
TEL：082-511-3908

太鼓と笛の音で松江の秋を楽しもう！

松江祭鑿行列は、毎年10月の第3日曜日に
行われる松江開府を祝う祭りです。

鑿行列は、数十個の提灯や幔幕を張り巡らすな
ど各町内で工夫をこらして飾り付けた「鑿宮」
という鉄の車輪のついた屋根付き山車屋台に、
四尺(1.2m)～六尺(1.8m)の鑿(どう)と呼ばれて
いる太鼓を2、3台据えて、笛・チャンガラ
の囃しに合わせて打ち鳴らし、子どもたち数十人
が揃いの法被で「ホウホエンエ ホウランエンエ エヤサノサイ ラノラノラ」と声を
揃えて綱を引く行列で、大地を揺るがす響きは秋の松江の代表的風物詩です。

本年は松江城築城400年にあたり、「松江開府400年祭」としてこの他にも様々なイ
ベントを行っています。風光明媚な自然を守り、豊かな文化を育んできた「国際文化観光
都市・松江」で「和の心と日本の美」を感じて下さい。



◆前夜祭◆

日時：10月15日(土)19:00～21:00

会場：松江城大手前駐車場・白湯天神広場

◆鑿行列◆

日時：10月16日(日) 集合12:00

式典13:30

出発14:00

会場：松江城周辺

〈問合せ先〉

松江市鑿行列保存会事務局

(社)松江観光協会内

TEL：0852-27-5843

〒690-0874 松江市中原町19番地

